

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和6(2024)年度)

| | | | |
|----------|------------------|-----|--------------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市公園緑地協会 | 所管課 | 建設緑政局グリーンコミュニティ推進室 |
|----------|------------------|-----|--------------------|

経営改善及び連携・活用に関する方針

| 法人の概要 | <p>1 法人の事業概要 【公益目的事業】 (1) 緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業 (2) 公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業 【公益目的事業の推進に資するために実施する収益事業等】 駐車場及び売店等の経営</p> <p>2 法人の設立目的 緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進、潤いと安らぎのある街づくりを行うことによる地域社会の健全な発展への寄与</p> <p>3 法人のミッション (1) 民有地の緑の保全及び緑化の普及啓発と市民の緑化意識の向上、市民による緑の街づくりの推進 (2) 緑のボランティアセンター機能としての、緑のボランティアの育成、活動支援の充実 (3) 公園緑地施設等の円滑な運営と健全な利用の増進 (4) 行政との協働により、市民の窓口となり市民ニーズを踏まえた多様な事業展開ができる緑の情報発信基地としての機能を果たし、緑豊かな潤いと安らぎのある街づくりに寄与すること</p> | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--|-----------------------|-------------------------|--|----|----|----------------|---------------|-----------------------|-------------------------|-------------|-------------------|--|
| | <p>市の緑地等に関する事業及び民有地の緑化に関する事業の推進に協力し、公園緑地の円滑な運営及び健全な利用の促進並びに市民の緑化意識の向上を図ることによって緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与するとともに、ボランティアセンターとしての機能を付加することで、市民活動拠点として充実させること</p> <ul style="list-style-type: none">・緑のボランティア育成及び持続的な活動の支援・民有地に対する助成事業を行い、緑の保全、緑化の推進及び緑化意識の向上・公園緑地施設等の管理運営 | | | | | | | | | | | | |
| 本市施策における法人の役割 | <table border="1"><thead><tr><th></th><th>政策</th><th>施策</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">法人の取組と関連する市の計画</td><td>市総合計画上関連する政策等</td><td>政策3-3 緑と水の豊かな環境をつくりだす</td><td>施策3-3-1 協働の取組による緑の創出と育成</td></tr><tr><td>関連する市の分野別計画</td><td colspan="2">川崎市緑の基本計画【H30～R9】</td></tr></tbody></table> | | | | 政策 | 施策 | 法人の取組と関連する市の計画 | 市総合計画上関連する政策等 | 政策3-3 緑と水の豊かな環境をつくりだす | 施策3-3-1 協働の取組による緑の創出と育成 | 関連する市の分野別計画 | 川崎市緑の基本計画【H30～R9】 | |
| | | 政策 | 施策 | | | | | | | | | | |
| 法人の取組と関連する市の計画 | 市総合計画上関連する政策等 | 政策3-3 緑と水の豊かな環境をつくりだす | 施策3-3-1 協働の取組による緑の創出と育成 | | | | | | | | | | |
| | 関連する市の分野別計画 | 川崎市緑の基本計画【H30～R9】 | | | | | | | | | | | |
| 現状と課題 | <p>【現状】 「川崎市緑の基本計画」に基づき、市民との協働による都市緑化の推進と緑のボランティア活動支援に取り組み、各種講座、コンクール、イベント等を実施しています。また、公益目的事業の推進、公益財団法人としての自主的な経営に向けて、事業の簡素化、効率化、収益事業の拡充、組織再編等を図り経費削減に努めています。</p> <p>【課題】 協会は、定款記載の公益財団法人としての目的を達成すべく緑に関する事業を円滑に実施する法人運営をしていきたいと考えています。そのために緑のボランティアセンターとして現在継続している緑のボランティアの育成と支援を行う活動拠点を中心とした事業運営を推進し、多様な主体が参画するグリーンコミュニティの形成を図ることが必要であると考えています。また、等々力緑地再編整備事業の影響を踏まえ、協会自主財源の主である収益事業の減収を見据えて、安定した事業収益の確保と協会事業運営が今後の課題であると考えています。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 取組の方向性 | <p>(1) 経営改善項目 等々力緑地再編整備事業の影響による事業収益の減収を減減させるため、自販機の増設による収益事業の拡充や等々力陸上競技場を主担当としている職員の人員配置等について調整を行い経営改善に向けて、事業の簡素化・効率化を図ります。</p> <p>(2) 連携・活用項目 「川崎市緑の基本計画」における各施策について、これまでの取組の継続に加えて、以下の観点を踏まえ、法人の役割を確認しながら連携・活用します。</p> <ul style="list-style-type: none">・緑のパートナーとして多様な主体との連携、促進を図り、「緑育」という視点で、特に次世代を担う子供たちに対する活動支援・緑の空間の持続的な保全・創出・育成という観点から、緑化助成制度の更なる普及と充実・グリーンコミュニティ形成の観点から、ボランティアセンター機能の活用と身近な公園における多様な主体の参加による取組を踏まえた地域コミュニティ形成、柔軟な利活用 | | | | | | | | | | | | |

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4カ年計画の目標

○地域社会の健全な発展に寄与するため、緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行います。

○「緑化推進・普及啓発事業」「緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)」「公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業」の3つを柱に、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、法人を市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として位置づけ、令和6年度の都市緑化フェアに向けた連携を図りつつ、緑に関する事業運営を推進拡充していきます。

○等々力緑地再編整備事業による影響を踏まえ、経常収支比率の改善及び正味財産額の減抑制に向けて、収益事業の見直しを実施し自己収入の確保に努めるとともに等々力陸上競技場の職員の人員配置等について調整を行い、効率的かつ安定的な業務を実施できるよう協議、調整をしていきます。また、今後の事業運営のあり方について検討を行います。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

| 取組No. | 事業名 | 指標 | 現状値 (令和3 2021年度) | 目標値 (令和6 2024年度) | 実績値 (令和6 2024年度) | 単位 | 達成度 (※1) | 本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3) | 今後の取組の 方向性 (※4) |
|-------|------------------------------|---------------|------------------------|------------------------|------------------------|---------------------|-------------|--|-----------------------|
| ① | 緑化推進・普及啓発事業 | ホームページアクセス回数 | 24,722 | 15,400 | 16,936 | 回 | a | C | II |
| | | 緑化推進事業等助成件数 | 1,443 | 1,120 | 1,073 | 件 | c | | |
| | | 事業別の行政サービスコスト | 本市財政支出 (直接事業費) | 48,666 (51,031) | 52,729 (55,800) | 52,729 (54,271) | 千円 | 2) | |
| ② | 緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業) | 各種講座受講者数 | 2,113 | 3,900 | 2,924 | 人 | b | C | II |
| | | 緑の人材バンク新規登録者数 | 13 | 17 | 20 | 人 | a | | |
| | | 緑の活動団体新規登録数 | 6 | 14 | 5 | 団体 | d | | |
| | | 事業別の行政サービスコスト | 本市財政支出 (直接事業費) | 51,290 (67,850) | 51,857 (71,000) | 54,551 (58,936) | 千円 | 2) | |
| ③ | 公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業 | 各種イベント等参加者満足度 | 94 | 97 | 99 | % | a | A | II |
| | | ばら苑来苑者数 | 68,145 | 81,500 | 90,853 | 人 | a | | |
| | | 事業別の行政サービスコスト | 本市財政支出 (直接事業費) | 194,596 (187,525) | 72,080 (75,080) | 86,613 (116,950) | 千円 | 4) | |

2. 経営健全化に向けた取組

| 取組No. | 項目名 | 指標 | 現状値 (令和3 2021年度) | 目標値 (令和6 2024年度) | 実績値 (令和6 2024年度) | 単位 | 達成度 | 本市による評価 ・達成状況 | 今後の取組の 方向性 |
|-------|-----------|----------|------------------------|------------------------|------------------------|----|-----|------------------|---------------|
| ① | 運営の自立性の向上 | 経常収支比率 | 106.4 | 84.3 | 90.2 | % | a | A | II |
| | | 正味財産額の推移 | 562,932 | 473,099 | 539,730 | 千円 | a | | |

3. 業務・組織に関する取組

| 取組No. | 項目名 | 指標 | 現状値 (令和3 2021年度) | 目標値 (令和6 2024年度) | 実績値 (令和6 2024年度) | 単位 | 達成度 | 本市による評価 ・達成状況 | 今後の取組の 方向性 |
|-------|-----------------|----------|------------------------|------------------------|------------------------|----|-----|------------------|---------------|
| ① | 効率的・安定的な執行体制の構築 | 常勤役職員の人数 | 21 | 17 | 18 | 人 | b | C | II |

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】



法人及び本市による総括

【令和5(2023)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

令和6年度は、広報手段として各種紙媒体の配布などを継続させながら、ホームページ、フェイスブックなどの電子媒体を活用し、幅広い周知を行い緑化推進・普及啓発事業向上に努めました。また、協会の全ての講座の周知と申込み等において二次元コードの活用等を行い、講座受講者数の確保と利便性向上に取り組みました。

令和6年10月及び令和7年3月から開催された「全国都市緑化かわさきフェア」において、緑のボランティアと市内の小中学生による市民協働花育事業「花づくり・花かざり事業」への取組を行いました。また、今後の協会運営と事業再編に向けて所管局と情報の共有を図り、持続可能な組織体制の構築に向けた協議を開始しました。そして、フェアのレガシーを踏まえ、協会は、これまで緑の活動団体や町会などの活動支援を中心に活動してきましたが、今後は、市民による公園の利活用を支援し、グリーンコミュニティの形成に向けた新たな「協働の取組」の担い手を育てる中間支援機能の活性化と仕組みづくりの事業化に対応すべく検討を始めるとともに、協会職員の新たな事業への意識改革の取組を開始しました。また、その最初の取り組みとして令和7年3月に公園緑地等での中間支援等業務委託のプロポーザルへの応募を行いました。

【令和6(2024)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

広報手段として各種紙媒体の配布などを継続させながら、ホームページ、フェイスブックなどの電子媒体を活用し、幅広い周知を行い緑化推進・普及啓発事業向上に努めたこと、また、協会の全ての講座の周知と申込み等において二次元コードの活用等を行い、講座受講者数の確保と利便性向上に取り組んだことは評価します。

また、緑化フェアにおいて、緑のボランティアと市立の小・中・特別支援学校全校の児童生徒による学校と地域をつなぐ「協働の花づくり・花かざり」に取り組んだことは評価します。

これまで、本市の公園等の管理運営は、地域住民等との「協働の取組」により支えられてきましたが、活動団体の高齢化等の課題を抱え、活動の持続性が危ぶまれています。そこで、本市では多くの市民の公園利用を促し、公園に親しんでもらい、グリーンコミュニティの形成に向けた新たな担い手確保に繋げる取組を進めています。この取組を踏まえて、今後、「協働の取組」を持続的なものにするには、公園利用者を繋ぎ、まとめ、育てる、中間支援組織が不可欠であり、その担い手には、公園緑地協会がこれまで培ってきた地域との繋がりや、みどりに関する技術的ノウハウはアドバンテージになると考えています。一方で公園の魅力発信、公園利用者間の活動や取組を連携させることなど、中間支援組織が果たすべき役割は多岐に渡り、これまでの公園緑地協会の活動の範囲を超えるものもあります。公園緑地協会には、等々力緑地再編整備事業の影響や全国都市緑化かわさきフェア開催によるみどりに関心の高まりを踏まえ、安定的な運営に向けた収益確保を進めるとともに、全国都市緑化かわさきフェアでの「協働の花づくり・花かざり」などの経験値も活かし、行政と連携し、市民ニーズを踏まえた多様な事業展開ができるみどりの情報発信基地としての機能を果たし、みどりのまちづくりに寄与することを期待します。

| | | | |
|----------|------------------|-----|--------------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市公園緑地協会 | 所管課 | 建設緑政局グリーンコミュニティ推進室 |
|----------|------------------|-----|--------------------|

1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和6(2024)年度)

| | |
|-------------------|---|
| 事業名 | 緑化推進・普及啓発事業 |
| 計 画 (Plan) | |
| 現状 | 緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の発行からフェイスブックやホームページの活用まで幅広い広報活動を展開し、緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・緑化助成金等)を周知することにより、地域の緑化と市民の緑化意識の高揚を図るとともに、花と緑あふれる潤いのある街づくりに努めています。 |
| 行動計画 | 広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体からホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、更にフェイスブック等により、リアルタイムに情報を提供、共有するとともに、広く市民に緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・緑化助成金等)を周知し拡充することに努めます。 |
| 具体的な取組内容 | <p>【指標1関連】</p> <p>ホームページやチラシなどへの二次元コードの活用を通じて、各種講座・教室等への申込みの利便性を高めるとともに、見やすさを重視したデザインと、スマートフォン対応型のホームページの内容を充実させ、利便性向上を図ります。また、フェイスブックを幅広く活用し、リアルタイムな情報発信の提供を行い、動画配信も行い、ホームページアクセス数増に努めます。さらに、令和6年度10月から開催される「全国都市緑化かわさきフェア」にも積極的に参加し、協会のPRと市民協働による花とみどりに関する事業の実施や取組をホームページ内やフェイスブックなどで発信し、アクセス数拡充に努めます。</p> <p>【指標2関連】</p> <p>広報の手段として広報誌・チラシ・パンフレット・タウン誌などの活用を継続し、市や協会主催のイベント等で配布することで、協会の公益目的事業である緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・生垣づくり・屋上・壁面緑化等)の周知を図り、各種助成件数の拡充に努めます。</p> |

実施結果 (Do)

| | |
|----------------|---|
| 本市施策推進に向けた活動実績 | <p>【指標1関連】</p> <p>令和6年度も各種講座申込みやチラシなどへの二次元コードの活用を継続し、パソコンやスマートフォン対応型ホームページからの各種講座申込みにおける利便性の向上に努めました。また、スマートフォン対応型ホームページ内の文字の大きさや見出しの配置・色合い、フェイスブック内の写真の見せ方や全体の見やすさを重視したデザインとするなど、視認性を高めることを継続し、内容を充実させました。また、令和6年10月から開催されている「全国都市緑化かわさきフェア」では、生田緑地ばら苑がフェア会場となり各種イベント等の開催や市内の小中学校での「花づくり・花かざり」事業の様子などをホームページ内やフェイスブックなどで情報発信を行いました。そして、「第20回わがまち花と緑のコンクール」表彰式の模様をフェイスブック内で動画配信しました。</p> <p>【指標2関連】</p> <p>広報の手段として広報誌・チラシ・パンフレット・タウン誌などの活用を継続し、市や協会主催のイベントや講座等で紙媒体による直接配布を行うとともに、二次元コードを活用したWEB広報も充実させ、緑化推進・普及啓発に向けた取組を行いました。目標を達成することができませんでした。また、思い出記念樹については、緑化フェア後の将来像の実現に向けた新たな展開などを踏まえ、配布のみの現状から、新たな担い手確保への普及啓発も兼ねたきっかけづくりとなる事業へ転換するなど、持続可能なみどりのまちづくりへつなげる取組へと更新していくことが必要と想定していることから、令和6年10月より、配布対象を幅広いものから、将来を担う子ども達・子育て世代に絞るなどの変更を行いました。(出生・入学等に限定・賀寿関係の廃止)</p> |
|----------------|---|

評価 (Check)

| 本市施策推進に関する指標 | | | 目標・実績 | R3年度 (現状値) | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|--------------|--------------|--|-------|---------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 1 | ホームページアクセス回数 | | 目標値 | | 15,200 | 15,300 | 15,400 | 15,500 | 回 |
| | 説明 | 協会ホームページアクセス回数 | 実績値 | 24,722 | 29,301 | 13,367 | 16,936 | | |
| 2 | 緑化推進事業等助成件数 | | 目標値 | | 1,090 | 1,115 | 1,120 | 1,125 | 件 |
| | 説明 | 緑化推進事業等を目的に行う各種助成総件数(思い出記念樹・生垣づくり・駐車場緑化・屋上・壁面緑化) | 実績値 | 1,443 | 1,270 | 1,142 | 1,073 | | |

| | | |
|----------------|---|--|
| 指標1 に対する達成度 | a | a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 |
| 指標2 に対する達成度 | c | ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

指標1については、チラシなどへの二次元コードの活用により、各種講座申込みにおける利便性を向上させるとともに、スマートフォン対応型のホームページの見やすさを重視したデザインとするなど内容を充実させる取組を継続して行いました。また、令和6年10月から全国都市緑化かわさきフェアが開催され、協会もばら苑がフェア会場となり各種イベント等の開催や市内の小中学校での「協働の花づくり・花かざり」事業の様子などをフェイスブックなどSNSによる情報発信を行うことにより目標値を達成することができました。そして、「第20回わかまち花と緑のコンクール」表彰式の模様をフェイスブック内で初めて動画配信を行いました。当日市長から贈呈された表彰状をもらう市民の方々の表情など、臨場感があふれる表彰式の配信となりました。指標2については、「思い出記念樹」のチラシへの二次元コードの活用とチラシ等を市や協会主催のイベント、講座などで直接配布を行いましたが、目標値を達成することができませんでした。今後もWEB広報と直接配布(イベント等)を両輪として継続的にまいります。また、活動団体への広報誌郵送時のチラシ同封回数を増やすとともに、各種講座内でのチラシ配布など積極的な周知を図ってまいります。

| 本市による評価 | 達成状況 | 区分 | 区分選択の理由 |
|---------|------|--|---------|
| | | A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った | C |

| 行政サービスコスト | | | 目標・実績 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|-----------|---------------|---------------|-------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----|
| 1 | 事業別の行政サービスコスト | | 目標値 | | 52,000 (55,600) | 52,729 (55,800) | 52,729 (55,800) | 52,729 (55,800) | 千円 |
| | 説明 | 本市財政支出(直接事業費) | 実績値 | 48,666 (51,031) | 52,729 (52,947) | 51,028 (51,490) | 52,729 (54,271) | | |

| | | |
|----------------------|----|--|
| 行政サービスコスト に対する達成度 | 2) | 1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上 |
|----------------------|----|--|

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として、広報誌やチラシ及びWEBの活用等により「思い出記念樹」の贈呈など緑化推進・普及啓発に努めました。その他緑化助成事業である生垣づくりや屋上・壁面緑化等についても継続した周知拡充に努めました。また、スマートフォンによるホームページの見やすさやフェイスブックの内容の充実、各種講座等の申込みなど二次元コードの活用を推進し、事業運営の効率化と経費削減に取り組みました。

| 本市による評価 | 費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」等を踏まえ評価) | 区分 | 区分選択の理由 |
|---------|--------------------------------------|--|---------|
| | | (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である | (2) |

改善 (Action)

| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分 | 方向性の具体的内容 |
|----------------------------------|--|-----------|
| | Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止 | Ⅱ |

| | | | |
|----------|------------------|-----|--------------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市公園緑地協会 | 所管課 | 建設緑政局グリーンコミュニティ推進室 |
|----------|------------------|-----|--------------------|

本市施策推進に向けた事業取組②(令和6(2024)年度)

| | |
|-----|------------------------------|
| 事業名 | 緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業) |
|-----|------------------------------|

計 画 (Plan)

| | |
|----------|--|
| 現状 | グリーンコミュニティ形成に向け、緑のボランティアの育成と活動団体の支援を図り、応募方式等による各種講座・出前講座等を開催し、緑のボランティアの育成と技術向上を図るとともに、講座修了者に協会人材バンク(令和2年度206人)への登録と緑の活動団体(令和2年度268団体)新規登録を推進し、市民の緑化意識向上に努めています。 |
| 行動計画 | 緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等の内容の充実を図り、受講者数を増やすとともに、受講者の技術向上を推進します。そして講座修了者を協会人材バンクに登録し、各種イベントボランティアや各地域で活躍できる人材育成を行うことにより緑の活動団体の新規登録を増進し、市民の緑化意識向上に努めます。また、身近な公園等における、多様な主体の参加による取組を踏まえた地域コミュニティの形成を進めます。 |
| 具体的な取組内容 | <p>【指標1関連】 各種講座(花と緑のまちづくり講座・里山ボランティア実践講座・花壇ボランティア実践講座・たねダンゴ実践講座・こども黄緑クラブ)の内容の充実(テキストの一部改訂)や工夫を図り、受講者の増加に努めます。また、全ての講座申込みで二次元コードを導入することで、スマートフォンによる申込みの周知と利便性を向上させ、若い世代や親子が参加しやすくなるよう工夫を図り、高齢者の方々にもわかりやすい案内となるように配慮し、効率的な事業運営に努めます。</p> <p>【指標2関連】 各種講座の内容を充実させることにより受講者数を増やし、講座(花と緑のまちづくり講座)期間中に人材バンク登録者に人材バンクの良さやお手伝いの内容等を紹介していただくなど工夫を図り、更に登録の促進に向けた働きかけを行い、講座修了者の人材バンクへの新規登録者数増に努めます。</p> <p>【指標3関連】 令和6年度も、各区で開催されている公園愛護会や管理運営協議会の総会等に出席し、緑の活動団体の説明やPRを積極的に展開し、新規登録数増に努めます。また、ホームページやフェイスブックで緑の活動団体の紹介や登録方法、助成制度等の説明を充実させ、リーフレットを作製し、市内公共施設等に配付して緑の活動団体新規登録への周知拡充に努めます。 公園愛護会や管理運営協議会の方々や直接的な交流を図り、協会が進める事業のPRと緑の活動団体の周知を行い、新規登録数増に繋げてまいります。また、主催のイベントや協会事業の出前講座・活動支援等に人材バンクのボランティアを派遣する機会を増やし、現場での技術指導や経験を積むことにより、ボランティアのスキルアップと地域で活躍できる人材育成を図り、新規登録数増に繋がる取組に努めます。</p> |

実施結果 (Do)

| | |
|----------------|--|
| 本市施策推進に向けた活動実績 | <p>【指標1関連】 令和6年度も、引き続き各種講座開催に向けてテキストの改訂、進め方の工夫、安全対策を講じるなど、受講者アンケートの結果を反映させることを継続して行い、講座の充実度を高めました。全ての講座の申込みで二次元コードが活用できるようになり利便性を高めました。こども黄緑クラブでは、若い世代のご家族からの申し込みが増え二次元コードの成果が表れてきました。 また、令和6年秋に開催された全国都市緑化かわさきフェアでは、「協働の花づくり・花かざり」の取組として「プラグ苗・たねダンゴ」を活用した花苗づくりを市内の小中学校30校で行い、参加生徒数3,137名、ボランティア延べ113名、職員延べ121名の市民協働による花苗を10,335株作り、フェア会場や市内公園緑地、小中学校で花苗を活用した取組を行いました。</p> <p>【指標2関連】 令和6年度も継続して花と緑のまちづくり講座・里山ボランティア実践講座修了者を対象に協会人材バンクへの登録の働きかけを行いました。講座内で、人材バンク登録者の先輩として人材バンクの必要性や楽しみ方などをお話する時間を作り登録への働きかけを継続して行いました。</p> <p>【指標3関連】 公園を管理している町会など管理運営協議会や愛護会の合同連絡会の場でリーフレットの配布などを継続して行いました。協会ホームページやフェイスブックを活用し、交流事業で28団体の訪問の様子などをアップしたり、訪問時にリーフレットや広報誌を配布し説明するなど、継続して団体登録の増加に努めました。また、協会が実施している各種講座の中でも緑の活動団体の必要性をお話したりして説明を行うなど新規団体登録へ向けた取組を継続して行いました。</p> |
|----------------|--|

評価 (Check)

| 本市施策推進に関する指標 | | 目標・実績 | R3年度 (現状値) | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|--------------|---|-------|---------------|-------|-------|-------|-------|----|
| 1 | 各種講座受講者数 | 目標値 | 2,113 | 2,500 | 3,850 | 3,900 | 3,950 | 人 |
| | 説明 緑のボランティア育成と活動支援を 目的に協会が主催する各種講座受 講者数 | 実績値 | | 2,839 | 4,284 | 2,924 | | |
| 2 | 緑の人材バンク新規登録者数 | 目標値 | 13 | 13 | 16 | 17 | 18 | 人 |
| | 説明 イベントの講師、花と緑の相談員、 出前講座、活動支援等に活用する 人材バンクの新規登録者数※R4個 別設定値:12(現状値の95%) | 実績値 | | 27 | 24 | 20 | | |
| 3 | 緑の活動団体新規登録数 | 目標値 | 6 | 12 | 13 | 14 | 15 | 団体 |
| | 説明 各地域で里山整備や花壇・プラン ター等を活用して花と緑のボラン ティア活動を行う団体の新規登録数 | 実績値 | | 14 | 8 | 5 | | |

| | | |
|----------------|---|---|
| 指標1 に対する達成度 | b | a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |
| 指標2 に対する達成度 | a | |
| 指標3 に対する達成度 | d | |

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

指標1については、各種講座の内容の充実・運営の工夫を図るとともに、安全対策を講じながら取組を継続して進めました。また、全国都市緑化かわさきフェアの開催に伴い、市と連携を図り市内小中学校30校での「協働の花づくり・花かざり」事業においてプラグ苗・たねダンゴによる花苗づくりを実施し、約3,100名の生徒さん達と季節の花づくりを実施しました。約半年かけてのプロジェクト期間に学校との事前打ち合わせ等を約100回程実施したことから令和5年度に行った学校での総合学習(緑の活動体験)やイベント等での緑のボランティアの活動紹介(パネル展示)などが実施できず令和5年度に比べて参加者が約3割減となり、目標値を達成することができませんでした。

指標2については、各種講座の中で緑のボランティアの必要性を周知するなど、人材バンク新規登録への働きかけを継続的に取り組んだことにより、目標値を達成することができました。

指標3については、各種講座や交流事業、出前講座や活動支援時に、リーフレット・チラシ配りなど緑の活動団体の新規登録への働きかけを行いました。令和6年度は、全国都市緑化かわさきフェアへの取組を重視したため各区の管理運営協議会の合同連絡会への参加ができず、更に各区道路公園センター主催の剪定講習会の開催も減少したため、周知の機会等が減り、目標値を達成することができませんでした。

| 本市による評価 | 達成状況 | 区分 | 区分選択の理由 |
|---------|------|--|---------|
| | | A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った | C |

| 行政サービスコスト | | 目標・実績 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|--|----------------------|-------|--|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----|
| 1 | 事業別の行政サービスコスト | 目標値 | | 49,230 (70,900) | 51,857 (71,000) | 51,857 (71,000) | 51,857 (71,000) | 千円 |
| | 説明 本市財政支出 (直接事業費) | 実績値 | 51,290 (67,850) | 51,857 (65,655) | 52,784 (68,213) | 54,551 (58,936) | | |
| 行政サービスコスト に対する達成度 | | 2) | 1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上 | | | | | |
| 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について) | | | | | | | | |
| <p>令和6年度開催した各種講座は、内容の充実・運営の工夫を図り、安全対策を講じることで、多くの方々に受講していただきました。また、協会が開催している講座の全てで二次元コードによるWEB申込みが可能となり、利用しやすい環境を提供することができました。昨今の物価高騰により事業費用全般と人件費等の諸経費が令和5年度に比べ高騰するなか、職員でできることは職員で行うなど、経費削減に取り組みましたが、目標値の範囲を超えました。令和5年度に比べて令和6年度の直接事業費が減少したのは、令和5年度のプロバ職員の定年退職に伴う退職金の支出があったことと令和6年度に新入プロバ職員を配置したことによる人件費の減少等によるものです。</p> | | | | | | | | |

| 本市による評価 | 区分 | 区分選択の理由 |
|---------|--|--|
| | 費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価) | (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である |

| 改善 (Action) | | |
|--------------------------------------|-------|---|
| 実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分 | 方向性の具体的内容 |
| | | I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 |

| | | | |
|----------|------------------|-----|--------------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市公園緑地協会 | 所管課 | 建設緑政局グリーンコミュニティ推進室 |
|----------|------------------|-----|--------------------|

本市施策推進に向けた事業取組③(令和6(2024)年度)

| | |
|-------------------|--|
| 事業名 | 公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業 |
| 計 画 (Plan) | |
| 現状 | 収益事業(売店・自動販売機・駐車場)を財源として、独自に展開している各種イベント(自主事業)を実施し、公園緑地及び運動施設並びに生田緑地ばら苑等の利用促進と緑化意識向上に努めています。 |
| 行動計画 | 収益事業の収益を財源として花と緑を中心とした各種イベントを実施し参加者満足度を高め、公園緑地の利用促進と緑化意識の向上と推進、拡充を図ります。また、開催するイベント等の内容を充実させ、公園緑地、運動施設、ばら苑の魅力を知りし利用者の拡充に努めます。 |
| 具体的な取組内容 | <p>【指標1関連】</p> <p>既存の自主事業(新春風揚げ大会、花壇の花植え、ばらの講習会、ばらの写真展、野外ライブコンサート、ボランティアガイド)の充実を図り、参加者満足度の向上に努めます。また、令和6年10月から開催される「全国都市緑化かわさきフェア」では、期間中に新たな取組として、専門家によるばらのトークショー、近隣バラ園との交流座談会、専門家による苑内スペシャルガイドツアー、ドライフラワー講習会、アニバーサリーフォトスポットの設置、市民プールの設置など様々なイベントや講習会等を企画実施することで、生田緑地ばら苑の周知と魅力発信を推進し、さらなる参加者満足度の向上に努めます。</p> <p>【指標2関連】</p> <p>ばら苑来苑者数の拡充を図る目的として、春・秋一般開放時に実施している既存の各種自主事業のほかに令和6年10月から開催される「全国都市緑化かわさきフェア」の期間中に新たな取組を企画実施することにより、来苑者増に努めます。また、収益事業では、フェア期間中にキッチンカーを増設し、収益確保と、来苑者増に繋がるような来苑者サービス向上に努めます。</p> |

実施結果 (Do)

| | |
|----------------|--|
| 本市施策推進に向けた活動実績 | <p>【指標1関連】</p> <p>令和6年度は、新春風揚げ大会、花壇の花植え、ばら苑開苑中のばらの講習会、ばらの写真展、野外ライブコンサート、ボランティアガイドなどの既存事業を中心に充実を図り、参加者満足度向上に努めました。</p> <p>また、令和6年10月から開催した「全国都市緑化かわさきフェア」の会場となったばら苑では、新たな取組として、専門家によるばらのトークショー、近隣バラ園との交流座談会、専門家による苑内スペシャルガイドツアー、ドライフラワー講習会、アニバーサリーフォトスポットの設置、市民プールの設置など様々なイベントや講習会等を企画実施しました。</p> <p>【指標2関連】</p> <p>生田緑地ばら苑では、春・秋一般開放時に、ばらの講習会、ばらの写真展、野外ライブコンサート、ボランティアガイドを全て実施することができました。特に、野外ライブコンサートは、実施回数を増やしたり、好評を頂いているクラシックの合唱やパレエなどを継続して行い、音楽と芸術を融合した取組を実施しました。令和6年10月から開催した「全国都市緑化かわさきフェア」期間中にはスペシャルイベントとしてバラと縁のあるブルガリアデーを設け、ブルガリアの音楽や文化交流を通じてばら苑の周知と来苑者拡充に努めました。</p> <p>また、収益事業では、フェア期間中にキッチンカー(飲料水・珈琲・軽食等)を導入し、収益確保と来苑者サービス向上を図り、来苑者数の拡充に努めました。</p> |
|----------------|--|

評価 (Check)

| 本市施策推進に関する指標 | | 目標・実績 | R3年度 (現状値) | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|--------------|-------------------------------------|-------|---------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 1 | 各種イベント等参加者満足度 | 目標値 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | % |
| | 説明 凧揚げ大会、ばら苑講習会、花と緑の講習会などの参加者満足度 | 実績値 | | 98 | 99 | 99 | | |
| 2 | ばら苑来苑者数 | 目標値 | 68,145 | 74,500 | 81,000 | 81,500 | 82,000 | 人 |
| | 説明 生田緑地ばら苑における春・秋の一般開放の来苑者数 | 実績値 | | 76,768 | 68,824 | 90,853 | | |

| | | |
|----------------|---|---|
| 指標1 に対する達成度 | a | a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |
| 指標2 に対する達成度 | a | |

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

指標1については、既存自主事業の充実を中心に実施し、新春凧揚げ大会やばら苑での、ボランティアガイドを含め、野外ライブコンサート、ばらの講習会など全ての自主事業を開催し、好評をいただき参加者の満足度向上に繋がり、目標値を達成することができました。
 指標2については、令和6年10月から開催した「全国都市緑化かわさきフェア」の会場となったばら苑内でフェア期間中に新たな自主事業の取組などを行い来苑者増加に繋がりました。

| | | | | |
|---------|------|--|---|---|
| 本市による評価 | 達成状況 | 区分 | A | 区分選択の理由 |
| | | A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った | | 既存自主事業を全て開催するとともに、生田緑地ばら苑において、フェア期間中に新たな自主事業の取組やスペシャルイベントを行い、参加者満足度の向上及び来苑者の増加に努め、各指標の目標値を上回ったため。 |

| 行政サービスコスト | | 目標・実績 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|-----------|---------------------|-------|----------------------|----------------------|--------------------|---------------------|--------------------|----|
| 1 | 事業別の行政サービスコスト | 目標値 | 194,596 (187,525) | 196,827 (200,246) | 72,080 (75,080) | 72,080 (75,080) | 72,080 (75,080) | 千円 |
| | 説明 本市財政支出(直接事業費) | 実績値 | | 202,777 (190,091) | 80,055 (98,038) | 86,613 (116,950) | | |

| | | |
|----------------------|----|--|
| 行政サービスコスト に対する達成度 | 4) | 1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上 |
|----------------------|----|--|

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

令和6年度は、自主事業の見直しを行った上で各種イベントを実施するとともに、業務の効率化を図り、経費削減に努めました。また、新春凧揚げ大会やばら苑では、野外ライブコンサート、ばらの講習会、ボランティアガイドなど全ての既存事業を継続して実施し、好評をいただき参加者の満足度向上に繋がりました。
 しかし、通常のばら苑の維持管理や上記既存事業に加え、秋の開苑時には緑化フェアに合わせて協会独自の事業を実施したほか、市からの受託事業も実施し、これらに係る物価及び人件費高騰(警備委託等)の影響で、本市財政支出及び直接事業費が増えたことにより、目標値の範囲を超えました。

| | | | | |
|---------|---|--|-----|--|
| 本市による評価 | 費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価) | 区分 | (2) | 区分選択の理由 |
| | | (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である | | 行政サービスコストについては、警備委託に係る人件費等の高騰により目標値を超えたものの、各成果指標について目標を達成することが出来たため。 |

改善 (Action)

| 実施結果(Do) や評価(Check) を踏まえた 今後の取組の 方向性 | 方向性区分 | 方向性の具体的内容 |
|--|---|-----------|
| | I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 | II |

| | | | |
|----------|------------------|-----|--------------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市公園緑地協会 | 所管課 | 建設緑政局グリーンコミュニティ推進室 |
|----------|------------------|-----|--------------------|

2. 経営健全化に向けた取組①(令和6(2024)年度)

| | |
|------------------|---|
| 項目名 | 運営の自立性の向上 |
| 計画 (Plan) | |
| 現状 | コロナ禍となる前では、経常収支比率は100%を超え、正味財産額も堅調に推移しておりましたが、令和2年度においては、緊急事態宣言下におけるイベントの中止や駐車場の一時閉鎖に伴い駐車場等事業収益が令和元年度と比較し約5千万円の減収となりました。また、令和5年度から等々力緑地再編整備事業の影響により、駐車場等事業収益の大幅な減収が見込まれるなか、市財政支出割合が高くなる傾向にならないように、新たに収益を確保できる事業を推進し、川崎市からの財政支出割合を低減するように努めています。 |
| 行動計画 | 今後4ヶ年における安定した協会事業運営を行うために、目標値の逓減抑制に向けて、自販機の増設など収益事業による自己収入の確保に努めるとともに、等々力陸上競技場を主な業務として担当している職員の人員配置の整理など経費削減策についても継続して検討を行い、公益事業を行える組織体制の構築と経営健全化に伴う財政構造の確立に努めます。 |
| 具体的な取組内容 | <p>【指標1関連】</p> <p>所管局と協議を重ね事業の見直しと効率化に取り組み、経費削減に努めます。また、令和6年度2か所の指定管理事業への応募を行い、新規事業獲得に努めます。</p> <p>収益事業では、所管局と情報共有し、各区道路公園センターの協力を得ながら、自動販売機の新規設置拡充を図ります。また、多摩川緑地駐車場運営の見直しによる経営健全化にも努めます。</p> <p>令和6年度10月から開催される「全国都市緑化かわさきフェア」の期間中に、生田緑地ばら苑で様々なイベントを開催し、花とみどりの推進と普及啓発を図るとともに収益確保に努めます。</p> <p>【指標2関連】</p> <p>みどり事業、収益事業の見直しと効率的な事業運営に努めるとともに、指定管理事業へ応募や、「全国都市緑化かわさきフェア」へ積極的に参加することで、収益確保を図り、経営の安定化と持続可能な組織運営に向けた取組を推進し、正味財産減少の抑制に努めます。</p> <p>【その他】</p> <p>緑化フェア事業の柱のひとつである、市内小・中・特別支援学校170校による協働の「花づくり・花かざり」の取組では、協会が提案したプラグ苗とたねダンゴによる花苗の育成が採用され、約7万株の花苗がフェア会場や地域の公園等で活用される見込みです。</p> <p>同取組の中で協会は、花苗等の作り方・育て方のマニュアル及び動画を企画・作成するほか、直接訪問しての育成指導の希望があった約30校で花苗育成講習会等を実施するなど、積極的に参加し、協会の価値向上と、市民協働による花と緑の普及啓発を推進してまいります。</p> |

実施結果 (Do)

| | |
|---------------|---|
| 経営健全化に向けた活動実績 | <p>【指標1関連】【指標2関連】</p> <p>令和6年度は、全国都市緑化かわさきフェアが開催され協会も調達協議会の一員として市立の全小・中・特別支援学校170校での「協働の花づくり・花かざり」事業とフェア会場である生田緑地ばら苑内における各種イベント事業運営に取り組み、収益確保に努めました。</p> <p>収益事業においては、所管局と情報共有し、各区道路公園センターの協力を得ながら、自動販売機の拡充を推進し、新規に3台設置を行い、収益確保に努めました。なお、多摩川緑地駐車場の運営については、効率的な事業運営のため令和6年度末で撤退することとなりました。</p> <p>また、令和6年度に2か所の指定管理事業へ応募し、1施設の指定管理者に内定しました。今後の持続可能な協会事業運営に向けた組織再編と新規事業への取組を開始しました。</p> |
|---------------|---|

評価 (Check)

| 経営健全化に関する指標 | | 目標・実績 | R3年度 (現状値) | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|-------------|----------|---|---------------|---------|---------|---------|---------|----|
| 1 | 経常収支比率 | 目標値 | 106.4 | 105.7 | 84.2 | 84.3 | 84.3 | % |
| | 説明 | 事業活動の結果である経常収益とそれに費やした経常費用の割合 | | 実績値 | 111.0 | 85.2 | 90.2 | |
| 2 | 正味財産額の推移 | 目標値 | 562,932 | 561,502 | 517,208 | 473,099 | 428,925 | 千円 |
| | 説明 | 出捐者から受け入れた指定正味財産額と本業から得られた過年度経常収支差額の合計額 | | 実績値 | 612,768 | 569,325 | 539,730 | |

| | | |
|----------------|---|---|
| 指標1 に対する達成度 | a | a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 |
| 指標2 に対する達成度 | a | |

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

指標1については、令和6年度は、全国都市緑化かわさきフェアが開催され協会も調達協議会の一員として市内の小中学校30校での「協働の花づくり・花かざり」事業とフェア会場である生田緑地ばら苑においても各種イベント運営に取り組み、収益確保に努めました。しかし経常収支比率は100を下回っているため、今後も収益確保と経費削減に取り組んでまいります。

指標2については、令和6年度に開催された全国都市緑化かわさきフェア関連事業収益により一般正味財産の減少額を最小限にとどめ、目標を達成することができました。

| 本市による評価 | 達成状況 | 区分 | 区分選択の理由 |
|---------|------|----|---|
| | | A | 収益確保に努めることで、指標1の経常収支比率が目標値を上回ったため。また、一般正味財産の減少額を最小限にとどめることで指標2の正味財産額の推移において、目標値を上回ったため。 |

改善 (Action)

| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分 | 方向性の具体的内容 |
|----------------------------------|---|-----------|
| | I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 | II |

| | | | |
|----------|------------------|-----|--------------------|
| 法人名(団体名) | 公益財団法人 川崎市公園緑地協会 | 所管課 | 建設緑政局グリーンコミュニティ推進室 |
|----------|------------------|-----|--------------------|

3. 業務・組織に関する取組①(令和6(2024)年度)

| | |
|------------------|--|
| 項目名 | 効率的・安定的な執行体制の構築 |
| 計画 (Plan) | |
| 現状 | 令和3年度は常勤役員2名及び常勤職員19名の計21名で事業運営業務を行っています。 |
| 行動計画 | 公益的目的事業の推進をするにあたり、緑のボランティアの育成と支援を行う活動拠点を中心とした事業運営を実施します。その上で等々力緑地再編整備事業の実施に伴い、等々力陸上競技場を主な業務として担当している常勤職員について、退職者の不補充により少なくとも3名の削減をするなどの適正な人員配置計画の策定を行い、協会組織のスリム化を図るとともに、当該計画に基づき、引き続き、効率的かつ安定的な業務遂行に努めます。 |
| 具体的な取組内容 | 協会の経営の健全化と組織体制の構築に向けた検証を行い、所管局と協議を重ね、事業の見直しと効率化に取組み、適正な人員配置に努めます。今年度は、収益確保に向けて2か所の指定管理事業に応募するほか、10月から開催される「全国都市緑化かわさきフェア」へ積極的に参加し、新たなみどり事業の充実と推進を図るため、令和5年度退職職員に代わり、緑の専門職を採用することで体制の強化を図り、安定して持続的な事業運営ができる組織再編に努めます。 |

実施結果 (Do)

| | |
|---------------|---|
| 業務・組織に関する活動実績 | 【指標1関連】 令和5年度から始まった等々力緑地再編整備事業の影響を考慮した組織再編と人員配置計画に基づき、17名体制で事業運営を行ってまいりましたが、令和6年度に2か所の指定管理事業への応募を行うとともに新たなグリーンコミュニティに関する新規事業に向けての取組みを開始することを目的に緑の専門職としてプロバ職員2名と嘱託職員1名の採用を行いました(令和5年度末1名定年退職、令和6年度末1名定年退職予定者の補充も兼ねる)。また、令和7年度以降の協会事業運営について、所管局と協議を重ね、組織再編に向けた取組を開始しました。 |
|---------------|---|

評価 (Check)

| 業務・組織に関する指標 | | 目標・実績 | R3年度(現状値) | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | 単位 |
|--|---------------------|-------|---|------|------|------|------|----|
| 1 | 常勤役職員の人数 | 目標値 | 21 | 20 | 17 | 17 | 17 | 人 |
| | 説明 年度当初の常勤の役員及び職員の数 | 実績値 | | 19 | 17 | 18 | | |
| 指標1に対する達成度 | | b | a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載 | | | | | |
| 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について) | | | | | | | | |
| 令和6年度に2施設の指定管理事業への応募を行うとともに新たなグリーンコミュニティに関する新規事業に向けての取組みを開始することを目的に緑の専門職としてプロバ職員2名と嘱託職員1名の採用を行いました。その結果1施設の指定管理者に内定することができました。更に、令和7年度以降の協会事業運営について、所管局と協議を重ね、組織再編に向けた人員配置と採用計画の検討を開始しました。 | | | | | | | | |

| | | | |
|---------|------|--|--|
| 本市による評価 | 達成状況 | 区分 | 区分選択の理由 |
| | | A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った | C 目標人数を上回ったものの、指定管理者の内定を得るなどの一定の成果があったため。 |

改善 (Action)

| 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性 | 方向性区分 | 方向性の具体的内容 |
|----------------------------------|-------|--|
| | II | 令和7年度から始まる1施設の指定管理事業運営と今後の事業拡充に向けて、全国都市緑化かわさきフェアのレガシーとなる市内全域でのグリーンコミュニティ形成に伴う中間支援事業等への取組に係る対応や、ボランティアセンターとしての機能を充実させる必要があるため、令和7年度から組織再編を実施するとともに、令和8年度以降の人員配置計画を策定していきます。 |

●法人情報

(1)財務状況

| 収支及び財産の状況(単位:千円) | | 令和3(2021)年度 | 令和4(2022)年度 | 令和5(2023)年度 | 令和6(2024)年度 | 令和7(2025)年度 |
|------------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 正味財産増減計算書 | (一般正味財産増減の部) | | | | | |
| | 経常収益 | 473,597 | 504,451 | 248,819 | 271,038 | |
| | 経常費用(事業費) | 425,916 | 434,498 | 272,352 | 281,224 | |
| | 経常費用(管理費) | 19,383 | 19,897 | 19,740 | 19,240 | |
| | うち減価償却費 | 2,599 | 3,920 | 1,671 | 1,642 | |
| | 当期経常増減額 | 28,298 | 50,056 | △43,273 | △29,425 | |
| | 経常外収益 | | | | | |
| | 経常外費用 | | | | | |
| | 税引前当期一般正味財産増減額 | 28,298 | 50,056 | △43,273 | △29,425 | |
| | 当期一般正味財産増減額 | 28,078 | 49,836 | △43,443 | △29,595 | |
| (指定正味財産増減の部) | | | | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | | | | | | |
| 正味財産期末残高 | 562,932 | 612,768 | 569,325 | 539,730 | | |
| 貸借対照表 | 総資産 | 693,601 | 808,270 | 669,875 | 637,837 | |
| | 流動資産 | 211,897 | 256,505 | 125,182 | 118,027 | |
| | 固定資産 | 481,705 | 551,765 | 544,693 | 519,809 | |
| | 総負債 | 130,670 | 195,502 | 100,550 | 98,107 | |
| | 流動負債 | 63,551 | 118,115 | 29,919 | 31,074 | |
| | 固定負債 | 67,118 | 77,386 | 70,630 | 67,034 | |
| | 正味財産 | 562,932 | 612,768 | 569,325 | 539,730 | |
| | 指定正味財産 | 131,000 | 131,000 | 131,000 | 131,000 | |
| | 一般正味財産 | 431,932 | 481,768 | 438,325 | 408,730 | |
| | | | | | | |

| 主たる勘定科目の状況(単位:千円) | | 令和3(2021)年度 | 令和4(2022)年度 | 令和5(2023)年度 | 令和6(2024)年度 | 令和7(2025)年度 |
|-------------------|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 経常収益 | 駐車場等事業収益 | 174,274 | 190,828 | 55,990 | 52,038 | |
| 経常費用 | 人件費(事業費+管理費) | 133,396 | 132,447 | 98,222 | 110,938 | |
| 総資産 | 特定資産 | 187,118 | 254,320 | 248,919 | 225,678 | |
| 総負債 | 有利子負債(借入金+社債等) | 2,216 | 5,423 | 4,067 | 2,711 | |

| 本市の財政支出等(単位:千円) | | 令和3(2021)年度 | 令和4(2022)年度 | 令和5(2023)年度 | 令和6(2024)年度 | 令和7(2025)年度 |
|---------------------|--|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 補助金 | | 99,955 | 104,586 | 103,812 | 107,280 | |
| 負担金 | | | | | | |
| 委託料 | | 194,596 | 202,777 | 80,054 | 86,613 | |
| 指定管理料 | | | | | | |
| 貸付金(年度末残高) | | | | | | |
| 損失補償・債務保証付債務(年度末残高) | | | | | | |
| 出捐金(年度末状況) | | 131,000 | 131,000 | 131,000 | 131,000 | |
| (市出捐率) | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | |

| 財務に関する指標 | | 令和3(2021)年度 | 令和4(2022)年度 | 令和5(2023)年度 | 令和6(2024)年度 | 令和7(2025)年度 |
|---|--|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 流動比率(流動資産/流動負債) | | 333.4% | 217.2% | 418.4% | 379.8% | |
| 有利子負債比率(有利子負債/正味財産) | | 0.4% | 0.9% | 0.7% | 0.5% | |
| 経常収支比率(経常収益/経常費用) | | 106.4% | 111.0% | 85.2% | 90.2% | |
| 正味財産比率(正味財産/総資産) | | 81.2% | 75.8% | 85.0% | 84.6% | |
| 経常費用に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用 | | 66.1% | 67.6% | 62.9% | 28.9% | |
| 経常収益に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益 | | 62.2% | 60.9% | 73.9% | 32.0% | |

| 法人コメント | | 本市コメント | |
|---|---|---|--|
| 現状認識 | 今後の取組の方向性 | 本市が今後法人に期待することなど | |
| 令和6年度も引き続き赤字経営が続いていますが、令和6年度の経常収益は、令和5年度に比べ約2200万円の増収となりました。増収の主な要因は、令和6年度に開催された全国都市緑化かわさきフェアへの参加に伴う事業収益が確保できたことによるものです。生田緑地ばら苑がフェア会場となり、協会の自主事業として各種イベント、講座等の開催とともに、収益事業としてキッチンカーや市民ブースによる委託販売などを積極的に展開し収益確保に努めました。また、令和7年度に向けて、公園緑地等での中間支援事業に向けた最初の取り組みとして令和7年3月に公園緑地等での中間支援等業務委託のプロポーザルや、2つの指定管理事業に応募し、1施設の指定管理者に内定することができました。 | 令和7年度からは、1施設の指定管理事業が始まり、また、全国都市緑化かわさきフェアのレガシーを踏まえ、今後川崎市全域で地域市民とともに協働で花と緑を守り育てる新たな取り組みとして中間支援組織の重要性がクローズアップされていきます。協会として令和7年度に向けて準備を開始し、新たな事業運営に対応できる体制として組織改革と職員の意識改革を行い、人員配置計画の策定を行うとともに、持続可能な協会運営を目指してまいります。また、引き続き自主財源である収益事業拡充(新規駐車場の調査や自販機設置)への取組等を進め、財源の確保に努めていきます。 | 今後、「協働の取組」を持続的なものにするには、公園利用者や業者、また、育て、中間支援組織が不可欠であり、その担い手には、公園緑地協会がこれまで培ってきた地域との繋がりや、みどりに関する技術的ノウハウはアドバンテージになると考えています。公園緑地協会には、等々力緑地再編整備事業の影響や全国都市緑化かわさきフェア開催によるみどりに関する高まりを踏まえ、収益事業の拡大に積極的に取り組み、安定的な運営に向けた収益確保を進めるとともに、全国都市緑化かわさきフェアでの「協働の花づくり・花かざり」などの経験値も活かし、行政と連携し、市民ニーズを踏まえた多様な事業展開ができるみどりの情報発信基地としての機能を果たし、みどりのまちづくりに寄与することを期待します。 | |

(2)役員・職員の状況(令和7年7月1日現在)

| | 常勤(人) | | | 非常勤(人) | | |
|----|-------|---------|---------|--------|---------|---------|
| | 合計 | (うち市派遣) | (うち市OB) | 合計 | (うち市在職) | (うち市OB) |
| 役員 | 3 | 0 | 2 | 6 | 0 | 0 |
| 職員 | 16 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解
・理由
・今後の方向性